令和４年度

事　業　報　告　書

特別養護老人ホーム虹ケ丘

ケアハウス虹ケ丘

虹ケ丘短期入所生活介護事業所

虹ヶ丘デイサービスセンター

虹ヶ丘在宅介護支援センター

虹ケ丘ホームヘルパーステーション

虹ヶ丘障害者短期入所事業所

虹ヶ丘障害者居宅介護事業所

ふれあいホーム神宮寺

令和4年度　高齢者総合福祉施設虹ヶ丘　事業報告書

（1）総　括

1.　令和3年度の運営基準の改正により、リスクマネジメント委員会の分掌としていた身体拘束及び虐待の防止についての内容を、新たに虐待防止委員会を立ち上げて集中して対策を協議することにしました。介護技術の問題も少なくありませんが、職員の倫理観や組織風土、組織運営等の課題を職員全体で共有し、相互に注意喚起できるような取り組みを少しずつ始めているところです。同じく運営基準の改正で求められることになったハラスメント対策については、研修会や啓発用のチラシを配布する等の取り組みを行いました。また、外国人技能実習生の受け入れに際して、これまでは抽象的概念だった職員としての姿勢や心構えを明文化したことで、職員全体で大切にしたい価値観の共有を図りました。

2.　令和4年度は、第三者評価の受診年であったことから、全部署が参加した形での自己評価に取り組んだことで、日頃の各部署の実践を可視化し、職員全体で虹ヶ丘の強みや弱みの共有を図った結果、各部署における業務手順の見直しを進めるきっかけになりました。
　業務手順やシステムの合理化の取り組みについては、厚生労働省の委託事業に参加し、記録の音声入力による間接介助時間の削減効果について有効性を確認することができたので、令和5年度から特養で導入したいと考えています。その他のICT化の取り組みとしては、クラウド上でのデータ共有を積極的に活用することでペーパーレス化を進めることができました。インカムについては、通信環境の改善と運用ルールの見直しを随時行うと共に、LINE WORKSの導入により、職員同士の情報共有が迅速かつ確実に行えるようになったと感じています。眠りSCANについては、機器の購入は見送り、ソフトウェアの連携または連動を進めました。
　外国人技能実習の指導にあたっては、日頃の業務手順の根拠を再確認し、優先度や必要性についての協議を繰り返す中で、自分たちの業務手順の改善につながったり、常に笑顔を絶やさずに真摯に職務に向き合っている姿が日本人スタッフの士気の高揚にもつながったと感じています。その他にも各種マニュアルの整備を進めましたが、根拠に基づくケアが十分にできているとは言い難い状況にあり、職員会議や研修の中で、各部署又は各職種の業務レベルが少しでも向上できるように継続して確認していきたいと思います。また、労働者災害にあたる事象（疥癬罹患、足をぶつける、針刺し事故等）が続くことがありました。こちらも5S活動「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」が十分ではないことが一つの要因として考えられるので、前述の通り、会議等で繰り返し確認していくことが求められていると感じています。

3.　令和4年度は、新型コロナウイルスの集団感染（クラスター）を始めとして、疥癬や胃腸風邪等、様々な感染症の猛威に対して、介護サービスの質を維持することが難しく、多くの行事は中止または縮小をせざるを得ませんでした。
　そのような中で、虐待等における緊急保護を与謝野町から求められた事案が複数あり、随時受け入れを行うように努めました。従来の実習受け入れに加えて、前年度までにはなかったインターンシップや社会福祉士養成の実習についても感染対策に留意しながら行政や他事業所と協力しながら受け入れを行いました。認知症サポーター養成研修は、予定していた計画が延期や中止を繰り返し、1回のみの派遣となりました。
　支援センターについては、令和5年度に在宅介護支援センター岩滝あじさい苑と合併することになっています。地域内の介護サービスの利用調整が滞ることがないように、地域ニーズに応えていきたいと考えています。

4.　令和4年度の大型改修としては、ケアハウスのエレベーターが更新時期を迎えていたので、改修工事を行いました。時間外勤務の削減の取り組みについては、前年対比で126時間（約3.7%）削減することができました。電気代については、様々な省エネ対策に取り組んだ結果、使用量は前年対比で7.8%削減することができましたが、金額では328万円（約30%）の増となりました。その他のコスト削減の取り組みとしては、食材費高騰に対する献立の工夫、取り引き業者の見直し、居室のLED化、物品購入ルールの変更等、様々な工夫を行いました。
　機能訓練と栄養マネジメントのあり方については、何度も勉強会をもちながら模索しましたが、クラスターや技能実習生の加入により、業務手順の見直し、またはその指導にあたることを優先するため、加算算定の時期を延期せざるを得ませんでした。稼働状況については、クラスターの影響もありましたが、ショートステイやデイサービスでは前年度を大きく下回る結果となり、サービス提供のあり方や職員体制の見直しが急務となっています。また、全体的な人件費コストの適正化を進めていくため、長年続けてきたユニット内調理の継続を断念し、中央調理方式に切り替えることにしました。
　その人らしい尊厳ある生活を送っていただくため、ユニットケアの柱である個別化を重視する考え方と、一方では経済効率性を重視していく方向性について、それらのバランスを念頭に置きながら、良質かつ中長期的に安定運営ができる基盤の構築を目指していきたいと思います。

(2)面会状況

月	人数
4	17
5	36
6	47
7	31
8	5
9	20
10	39
11	41
12	22
1	31
2	52
3	52
合計	393

(3)健康管理状況

内容	利用者(特養)		職員	
	月	人数	月	人数
血液検査			7	102
			12	40
尿検査			7	102
			12	40
心電図検査			7	102
			12	40
胸部レントゲン検査	1	50	7	102
インフルエンザ予防接種	11	50	11	66
			12	32

(4)年齢構成別荷重平均栄養価(所要量・摂取量)(4月分)

栄養項目	特養	ケア	所要量	単位
エネルギー	1,442	1,442	1,507	kcal
たんぱく質	55.4	55.4	59.0	g
脂質	33.4	33.4	42.7	g
カルシウム	424	424	627	mg

※　食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

(5)全体行事

月/日	行　事　名	参加者数	月/日	行　事　名	参加者数
4/8	与謝野町長・町議会議員不在者投票	11	10/7	特養入居者歯科検診	50
4/14	避難訓練	11	11/1	チューリップ球根植え	24
5/10	虹ヶ丘新聞発行	0	11/7	J. TEST実用日本語検定	2
5/12	避難訓練	10	11/10	虹ヶ丘新聞発行	0
6/15	園芸活動	8	11/23	職員インフルエンザ予防接種	42
6/21	ワックス清掃	4	11/24	職員インフルエンザ予防接種	36
7/6	参議院議員不在者投票	16	12/1	職員インフルエンザ予防接種	26
7/21	ワクチン接種	20	12/5	神宮寺手打ちそば	20
8/4	ワクチン接種	16	12/13	避難訓練	10
8/9	ワクチン接種	18	1/1	新年祝賀式	76
9/1	ワクチン接種	15	1/12	避難訓練	12
9/15	虹ヶ丘敬老祝賀式	65	1/23	第三者評価受審	5
9/16	技能実習生入職式	11	2/10	虹ヶ丘新聞発行	0
9/19	神宮寺敬老会	10	2/7	社会福祉士養成実習受入	1
9/29	与謝野町表敬訪問	3	2/27	エレベーター更新工事開始	0

(6)ボランティア受入れ状況

月	グループ名	参加者数	内　容
10	暁星高校	11	窓ふき・車いす清掃

(7)　体験学習・研修受け入れ

月	内　　容	実人数
7月	看護学校実習受入	2
7月	宮津天橋高校見学	3
8月	看護学校実習受入	2
8月	暁星高校実習	1
9月	暁星高校実習	2
10月	暁星高校実習	2
2月	武庫川女子大学社会福祉士養成実習	14
3月	介護支援専門員実務者研修	1

(8)内部研修

月	内　　容	講　師	人数
4月	リハビリ勉強(リフト研修)	神内PT	5
5月	特定事業所加算に関する事務作業の効率化・加算業務説明会	WEB	4
	拡大管理会議	施設長	22
	令和4年度コンプライアンス研修	施設長	全職員
	リハビリ勉強会(リフト研修)	神内PT	10
6月	ICT委員会6月定例会	WEB	7
	新人職員研修(倫理)	施設長	1
	機能訓練と栄養ケアの勉強会①	施設長	10
	令和4年度認知症勉強会①	清原看護師	10
	リハビリ勉強(リフト研修)	神内PT	4
7月	機能訓練と栄養ケアの勉強会②	施設長	8
	令和4年度認知症勉強会②	清原看護師	14
	リハビリ勉強(デイサービスケース検討)	神内PT	3
10月	令和4年度褥瘡委員会全体勉強会	神内PT	79
12月	考課者研修アンケート	施設長会	20
	R4年度感染症勉強会	感染症委員会	67
	リハビリ勉強(ケース検討WEB)	神内PT	3
1月	令和4年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスクマネジメント委員会	77
2月	令和4年度看取り勉強会	看取り委員会	51
	令和4年度第2回リスクマネジメント勉強会	副施設長	11
	姿勢ケア勉強会(WEB)	神内PT	11
	令和4年度特養新人研修	小西係長	3

	認知症の行動心理症状の理解とアセスメント	WEB	4
3月	男性利用者が通いたくなるデイの作り方	WEB	3
	リハビリ勉強（ケース検討WEB）	神内PT	4
	バーセルインデックス動画研修（デイサービス）	WEB	8
	バーセルインデックス動画研修	WEB	36

（９－１）派遣研修

月	研　　修　　名	主 催 者	人数
5月	府老協第1回総会	府老協	1
7月	介護職種の技能実習指導員講習	大阪介護福祉士会	2
	福祉即戦力人材養成科実習指導者向け研修会	北京都ジョブパーク	1
	介護ロボット・ＩＣＴ等福祉機器展	三笑堂	6
8月	認知症の人の意思決定支援研修	京都府	1
9月	認知症介護実践者研修	府老協	1
10月	言語聴覚士が提案する食支援・口腔ケアについて研修	与謝野町ケアマネ連絡会	1
	生活支援体制整備事業研修会	与謝野町社協	1
	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
11月	介護職種の技能実習指導者講習	日本介護福祉士会	2
	京都府北部地区別看取りサポート研修	京都府看護協会	1
	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
12月	令和4年度京都府認知症介護実践者等養成研修実践者研修	府老協	1
	社会福祉士実習指導者講習会	京都社会福祉士会	1
	「生活支援体制整備事業」とは	与謝野町社協	1
1月	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
2月	2022年度朗務ゼミナール	全国社会福祉法人経営者協議会	1

（９－２）オンライン研修

月	研　　修　　名	主 催 者	人数
4月	高齢・障害施設のための新型コロナウイルス感染症対策研修	京都府健康福祉部	1
6月	令和4年度介護保険サービス事業者集団指導	京都府	1
	排泄ケア見直しませんか。排便コントロール	リブドゥコーポレーション	1
	認知症介護実践者研修	府老協	1
7月	チームオレンジ勉強会	与謝野町福祉課	2
	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老施協	1
8月	看取り基礎研修	京都府看護協会	1
	全国ノーリフティング基礎研修	全国ノーリフティング推進協会	2
	令和4年度障害サービス事業者等集団指導	京都府看護協会	1
9月	2022年度朗務ゼミナール	全国社会福祉法人経営者協議会	1
	施設入所・退所時の事務手続き等対応研修	全国老人福祉施設協議会	2
10月	2022年度朗務ゼミナール	全国社会福祉法人経営者協議会	1

	デイサービスにおける「新型コロナウイルス感染対策」について	府老協デイサービス委員会	2
11月	安全運転管理者講習	京都府公安委員会	1
	小規模多機能型居宅介護ケアマネジメントの手引き	日本介護支援専門員会	1
	2022年度朗務ゼミナール	全国社会福祉法人経営者協議会	1
	ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	1
	小規模多機能型居宅介護ケアマネジメント実務の手引き研修	日本介護支援専門員会	1
	福祉リーダーの極意を学ぶセミナー	府社協	1
	ＩＣＴ活用で変わる！介護支援専門員の仕事のかたち	全国生活協同組合連合会	1
12月	2022年度朗務ゼミナール	全国社会福祉法人経営者協議会	1
	ケアプランデータ連携システム説明会	日本介護支援専門員会	1
1月	換気から見た新型コロナ対策	京都府健康福祉部	1
	技能実習責任者講習	ウェルネット	1
	令和4年度感染症予防対策研修	丹後保健所	2
	医療と介護の連携推進研修会	丹後保健所	3
2月	施設看取り研修オンライン研修	地域包括ケア推進機構	2
	姿勢ケアモチベーションアップ研修	京都府介護支援専門員会	1
	認知症の人の意思決定支援研修第２回	京都府	1

(10)諸会議参加状況

会　議　名	主 催 者	延べ日数
令和4年度丹後地域オレンジロードつなげ隊圏域会議	丹後保健所	2
事業所と福祉課の意見交換会	与謝野町	1
与謝野町権利擁護支援体制検討委員会	与謝野町	4
コロナワクチン4回目摂取に関する打合せ	与謝野町	1
与謝野町小規模多機能連絡会議	与謝野町	2
与謝野町地域ケア会議	地域包括支援センター	1
与謝野町福祉事業所連絡会全体会	地域包括支援センター	1
与謝野町福祉事業所連絡会役員会	地域包括支援センター	1
ケアマネ交流会	地域包括支援センター	1
認知症コアメンバー会議	地域包括支援センター	2
地域ケア個別会議	地域包括支援センター	1
与謝野町認知症カフェ会議	地域包括支援センター	3
与謝野町ケアマネ連絡会	地域包括支援センター	2
与謝野町地域包括支援センター運営協議会	地域包括支援センター	1
認知症初期集中支援チーム検討委員会	地域包括支援センター	1
ユニットIN北京都施設長会	ユニットIN北京都	5
ユニットINケアマネ部門	ユニットIN北京都	2
ユニットIN介護部門	ユニットIN北京都	2
ユニットIN北京都小規模多機能部門介護士交流会	ユニットIN北京都	2
ユニットIN北京都小規模多機能部門	ユニットIN北京都	4

(宗)神宮寺の現況と今後についての説明会	石川下地地区	1
令和4年度京都府機能訓練指導員等研修会	京都府リハビリテーション支援センター	1
養護軽費研修会	府老協	1
技能実習受入準備委員会	技能実習受入準備委員会	3
エレベーター工事工程会議	莫設計	1
認知症サポーター養成講座打ち合わせ	橋立中学校	1
三菱総研オペレーション変更打合せ	三菱総合研究所	1
ハナストミーティング	エクサウィザーズ	3
NeosCareデモンストレーション	ノーリツプレシジョン	1

(11) 高齢者介護者教室

月 日	内 容	参加者数	会 場
3月3日	石川小学校認知症サポーター養成講座	21	石川小学校

(12)事故状況

事故の総件数については、令和3年度の587件から384件へと大幅に減少しました。この要因としては、法人間での事故報告の統一がなされ、これまで事故として報告していた「原因不明の内出血」など、報告の対象から外れたことが大きな要因と考えられます。ただし、定義の統一だけでなく、すべてのカテゴリで令和3年度の件数を下回っており、年間をとおして事故防止の意識を持ち、取り組みを行った成果がみられたと思います。
受診に至った事故については12件から10件へと微減ですが、令和3年度においては誤嚥による死亡事故が1件と、骨折事故が9件と重大な事故が多数発生していたものの、今年度は骨折事故が5件と減少しました。他の事案については、打撲がほぼ大半を占めておりますが、飲み物がこぼれて火傷をされる事故も1件発生しております。また、介助の際に骨折に至った事故が2件発生しており、介助の手順を確認しながらより安全な介助が行えるよう、事故防止に努めたいと思います。

総件数	転倒・転落	外傷	薬関係	誤嚥・誤飲	その他	受診
384	146	34	71	1	132	10

(13)満足度アンケート

回収率は45.7%となり、前年の49.8%を下回る結果となりました。在宅サービスと神宮寺では依然として低い回収率になっているため、次年度の取り組み時にはより多くの回答が得られるように広報や声かけ等を行っていきます。

回答の内容では、職員の言葉遣い・態度について、ほとんどの方から「丁寧」、「優しい」、「満足している」とお褒めの言葉をいただいた一方で、「殆どは良いが・・・中には介護の仕方、反応が悪い人がいるのでイライラがつのる。」とお叱りをいただくような意見もありました。また、面会を制限している中で、「オンライン面会をさせてもらって満足している」といった声を複数からいただく一方で、「窓越し面会やリモートでは面会した気にならない」、「玄関越しではなく、以前のように会議室などでパーテーション越しでの面会が出来れば嬉しいです。」と、限定した形での面会では十分なコミュニケーションを図っていただけないもどかしさを感じる意見も幾つかいただきました。

その他には、入浴回数の増加を希望する意見、サービス利用中に外出の機会を望まれる意見等、毎年のようにいただく要望もありましたが、全体を通しては、コロナ禍にあって職員への励ましや労らいの言葉を多くの方からいただきました。また、特養においては、食事量や入浴日、バイタルサイン等をご家族に書面で情報提供する取組を始めたことについては大変多くの方から好評の声をいただきました。まだまだコロナ感染症への警戒を緩めることはできない中で、次年度についてもご利用者やご家族がより満足していただけるようなサービスの提供に努めます。

① 配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率
特養	49	35	71.4%
ケアハウス	22	13	59.1%
在宅サービス	138	51	37.0%
神宮寺	21	6	28.6%
不明		0	
合計	230	105	45.7%

② サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特養	27	6	0	0	2	35
ケアハウス	8	2	0	0	3	13
在宅サービス	36	10	2	0	3	51
神宮寺	6	0	0	0	0	6
不明	0	0	0	0	0	0
合　計	77	18	2	0	8	105
回答構成率	73.3%	17.1%	1.9%	0.0%	7.6%	

令和4年度　特別養護老人ホーム虹ヶ丘事業報告書

1. 総括

令和4年度は、新型コロナウイルスの流行から3年目を迎え、一連の感染対策には努めてきましたが、7月下旬から8月中旬にかけて施設内で集団感染（クラスター）が発生したため、隔離生活を余儀なくされた入居者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。この期間以外にも散発的に陽性者が発生したことで、日頃から感染対策を強化せざるを得ない状況が続き、日常生活や楽しみの機会が大幅に減少し、ケアの質を維持することが困難になりました。また、面会制限が続いたため、ご家族や外部との接触ができず、ユニット内での生活が中心になり、入居者の皆様には不安な日々を過ごしていただくことになってしまいました。そうした中で施設全体でのイベントや取り組みは限られましたが、ユニットごとに入居者一人ひとりの気持ちに寄り添った個別の支援を行うことで、入居者の心のケアに努めました。

数年前から導入を進めてきたICT及び介護ロボット機器（眠りSCAN、インカム、移乗リフト等）を活用することで、入居者の状態観察や見守り、情報伝達、予測される行動把握が行いやすくなりました。その結果、適切なケアを推進するための環境整備や事故の未然防止に成果が出ていると実感しています。24時間シートの取り組みは3年目に入り、ユニット間での進捗状況に差が出てきていますが、全体的にはまだ日々のケアに十分に活かしきれているとは言い難い状況です。

9月からは外国人技能実習生2名を受け入れています。業務の在り方や見直し、マニュアルの整備、コミュニケーションの取り方など再確認する良い機会となりました。技能実習生の成長は著しく、即戦力として無くてはならない存在となっています。

令和4年度は17名の退居者がありました。そのうち2名は入院された後に治療期間が長引いたため退居されることになり、9名の方はお看取りをさせていただきました。また、コロナ禍で感染対策が長期化し、心身の調子を崩されてお看取りになられたケースもありました。

2　入退所状況

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	3	1	2	1	0	2	4	1	2	0	0	2	18
退所者数	3	1	1	1	1	2	3	1	2	0	1	1	17
月末在籍者数	49	49	50	50	49	49	50	50	50	50	49	50	

3　入所者状況

今年度は17名の方が退居されました。そのうち入居期間が1年未満の方が6名おられ、入居後2か月足らずで亡くなられた方もありました。1月を除いて毎月入居者の入れ替わりがありましたが、多くの場合は空室になってから短期間で新しい入居者を迎えることができたため、入居率は一年を通して高い状態で推移できました。平均介護度については、3.94と前年とほぼ同じになりました。9名のお看取りについては、ご本人の意思はもとより、ご家族の思いを尊重し、寄り添うケアが提供できたと考えていますが、「施設でできること、できないこと」を早い段階から伝えていくことで、ご家族が看取りについて十分に考えていただけるような支援が提供できるように努めます。また、過去数年と異なる特徴としては、与謝野町からの要請により緊急を要するとされた入居者2名の受け入れを行いました。今後も社会福祉法人として地域の安心、安全が担保できるように特養の使命を果たしていきたいと思います。

（1）介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	0	0	0.0%
要介護3	4	14	18	36.0%
要介護4	5	12	17	34.0%
要介護5	1	14	15	30.0%
合　計	10	40	50	100.0%
平均要介護度	3.70	4.00	3.94	

（2）年齢別状況

年　齢	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	0	1	1
70－79	4	5	9
80－89	5	10	15
90－99	1	22	23
100－	0	2	2
合　計	10	40	50
平均年齢	81.1	86.2	85.2
最高年齢	98	103	
最低年齢	71	69	

（3）出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	8	34	42
伊根町	0	2	2
宮津市	2	1	3
その他	0	3	3
合　計	10	40	50

(4)入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	3	6.0%
5年以上～10年未満	9	18.0%
3年以上～5年未満	8	16.0%
1年以上～3年未満	16	32.0%
1年未満	14	28.0%
合　計	50	0.0%

4　入所者の健康状況

(1)利用者の診察状況

診察別	入院		通院	診察別	入院		通院
	人数	日数	日数		人数	日数	日数
内科系疾患	15	246	41	耳鼻科系疾患	0	0	3
外科系疾患	0	0	1	皮膚科系疾患	0	0	69
精神科系疾患	0	0	22	泌尿器科系疾患	1	4	6
婦人科系疾患	0	0	0	整形外科系疾患	1	28	12
眼科系疾患	0	0	5	歯科系疾患	0	0	452
				合　計	17	278	611

(2)嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
宮津市由良診療所	27	2.25
伊藤内科医院	26	2.16

5　サービス状況

前年度もコロナ禍により体操等の全体行事を制限していましたが、今年度に入り、コロナ前は毎日行っていた"みんなの体操"を、週1回ではありますが再開しました。しかし、前述の通り、7月からの集団感染発生後は一切の全体行事を中止することとなり、ユニットごとの実施に切り替えて感染予防に努めました。また、全体での行事ができなかったため、ユニット独自で感染対策に留意しながらご入居者の生活への刺激や楽しみの機会をもつように心がけました。面会制限の期間が長引いているため、ご家族の不安や心配を慮り、ご入居者のバイタルサインや睡眠状況の一覧、ご様子を記入した顔写真等を毎月ご家族に送るようにしてからは、随分と好評の声をいただいています。

（1）部署・ユニット行事

月/日	行　事　名	参加者数	月/日	行　事　名	参加者数
4/9	東2花見	1	9/15	敬老祝賀式（各ユニットで）	35
4/10	東2花見	8	10/11	喫茶	40
4/13	体操（全体）	5	10/21	喫茶	40
4/20	体操（全体）	11	11/5	喫茶	40
4/27	体操（全体）	7	11/12	東2ドライブ（紅葉見学）	5
5/4	体操（全体）	14	11/16	喫茶	40
5/11	体操（全体）	7	12/20	西2クリスマス会	14
5/18	体操（全体）	16	12/22	東1クリスマス会	10
5/25	体操（全体）	10	12/23	東2クリスマス会	14
6/1	体操（全体）	14	12/25	西3クリスマス会	12
6/5	喫茶	40	1/24	東2食レク	14
6/8	体操（全体）	13	2/3	節分（東1）	10
6/15	体操（全体）	10	2/3	節分（西2）	14
6/15	喫茶	40	2/3	節分（西3）	12
7/5	喫茶	40	3/3	喫茶	40
7/6	体操（全体）	8	3/15	喫茶	40
8/12	盆供養（入居者参加無し）	0	3/29	花見ドライブ（親水公園）	12

令和4年度　ケアハウス虹ヶ丘　事業報告書

1　総　括

令和4年度は入居者6名、退去者4名で年度末入居者は14名でした。入居理由は、入院を機に自宅での生活が困難になったり、一人暮らしを続けることへの不安や親族の近くへの転居が主なものでした。退居の4名については、骨折や持病の悪化から入院後に24時間型の介護施設へ転所された方が2名、介護サービスを利用してもケアハウスでの生活が難しくなり、特養入所に移行された方が1名、また、体調が悪くなられ、入院中に亡くなられた方が1名おられました。また、今年度については家庭内虐待によって緊急利用された方が2名ありました。1名は、その後に自宅で生活できるようになり数日のみの体験利用という形となりましたが、もう1名については自宅に帰ることが困難な状況であったため、実際に入居されるに至りました。この地域の福祉施設という役割を存分に果たせるよう今後も柔軟な受け入れ対応をしていくことが求められていると感じています。

令和4年度も前年に続き、コロナ禍での生活制限のある日々ではありましたが、毎日の感染予防対策、体調確認は継続して行いました。対策緩和時期には運動や手作業等の活動を提供するように心掛けました。入居者の生活の様子や心身の状態を観察し、変化が見られた場合にはご家族に相談するようにも心掛けました。本人の意思を尊重しながらかかりつけ医や関係機関にもこまめに情報提供を行う中で、必要なサービスの提案も行いました。毎日の関わりでの信頼関係の構築を重視し、今後も慎重且つ丁寧に関わっていきたいと思っています。

また、ケアハウスでの生活の限界についても改めて考える機会がありました。住み慣れたケアハウスで最期まで過ごしたいというご本人とご家族の希望を叶えられるよう、ご家族、関係機関と連携し、より柔軟な対応に努めていきたいと思います。

2　入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	0	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	6
退居者数	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	4
月末在籍者数	11	11	13	13	12	12	13	14	14	15	14	14	

3　入居者状況

(1)年齢別構成

年　齢	男性	女性	合　計
−59	0	0	0
60−69	0	0	0
70−79	0	0	0
80−89	3	6	9
90−99	0	5	5
100−	0	0	0
合　計	3	11	14
平均年齢	86.3	87.5	87.2
最高年齢	89	93	
最低年齢	81	80	

(2)出身地別状況

出身地	男性	女性	合　計
与謝野町	2	8	10
伊根町	0	0	0
宮津市	1	1	2
その他	0	2	2
合　計	3	11	14

4 身体状況

(1)要介護度別　　平均　1.4

介護度	男 性	女 性	合 計	構成比
認定無	0	0	0	0%
要支援1	0	3	3	21%
要支援2	1	2	3	21%
要介護1	1	2	3	21%
要介護2	1	2	3	21%
要介護3	0	2	2	14%
要介護4	0	0	0	0%
要介護5	0	0	0	0%
合　　計	3	11	14	100%

(2)在宅サービス利用状況

利用種別	実人員	対入居者割合	備　考
訪問介護	7	58.3%	
訪問看護	7	58.3%	
短期入所	1	8.3%	
通所介護	6	50.0%	
通所リハ	0	0.0%	
小規模多機能	1	8.3%	

5 行事等の実施状況

(1) 行　事

月	行　事　名
4月	買物サービス(毎週)
5月	買物サービス(毎週)
6月	買物サービス(毎週)
7月	買物サービス(毎週)
8月	買物サービス(毎週)
9月	買物サービス(毎週)
10月	買物サービス(毎週)
11月	買物サービス(毎週)
12月	買物サービス(毎週)
1月	買物サービス(毎週)
2月	買物サービス(毎週)
3月	買物サービス(毎週)

月例行事　懇談会(毎月月末)

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)
4月	ズンドコ体操
5月	ズンドコ体操
6月	ズンドコ体操
7月	ズンドコ体操
8月	ズンドコ体操
9月	ズンドコ体操
10月	ズンドコ体操
11月	ズンドコ体操
12月	ズンドコ体操
1月	ズンドコ体操
2月	ズンドコ体操
3月	ズンドコ体操

令和4年度　虹ヶ丘ショートステイ　事業報告書

1　総　括

令和4年度の稼働状況は、延べ利用人数が、8月に288名、3月には398名と大きく落ち込んでいますが、8月は新型コロナウィルスの集団感染（クラスター）が発生し、3月は感染性胃腸炎の流行により、通常の受け入れを大きく制限せざるを得なかったことが影響しています。これら以外にも、疥癬の感染症が発生する等、ご利用者やご家族においては、ショートステイが安心して利用できないと感じてしまわれる状況を数多くもたらしてしまい、多大なご迷惑をおかけすることになってしまいました。普段からご利用者の全身状態の観察や標準的な感染対策には取り組んでいますが、人の出入りの激しい在宅サービスゆえの感染予防の難しさを痛感する一年でした。また、特養側には4つのショートステイ居室がありますが、感染対策の観点からは利用の仕方の難しさを感じています。

今年度はショートステイ利用中に急変され、お亡くなりになる方が2名ありました。突発的な症状だったため防ぐことは難しい状況でしたが、その後の対応、ご家族への情報提供等は丁寧に行い、「自宅ではなく施設で早く対応してもらえた」と言っていただけることがありました。平均年齢は87歳と高齢の方に利用していただいているため、常に緊張感のある中で状態観察をしっかりと行い、適切な対応ができるように職員全体で研修や研鑽を重ねていきたいと思います。

必要な見守りを行いながらプライバシーにも配慮できる機能をもった見守りカメラのデモンストレーションを2回行いましたが、設備や環境面での不具合があったため、導入には至りませんでした。限られた職員数で必要な援助が行えるように、今後もICT機器や介護ロボットの活用等、様々な工夫を続けていくことで、サービスの質の維持、向上を図っていきたい考えています。

今年度は与謝野町と連携し、虐待事案や、認知症の行動が激しく命の危険もある方の緊急受け入れも随時行ってきました。地域の状況を見ると、要介護認定を受ける方は多く推移していますが、内訳としては軽度者が多く、重度の方は今までよりも早い段階で施設入所がしやすい状況になっています。重度の方でも在宅生活が継続できるように、今後も他のサービスとの緊密な連携を図りながら丁寧な支援と臨機応変な対応を心がけていきたいと思います。

2　利用状況

（1）町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合　計	1日平均
4月	500	0	0	0	500	16.7
5月	546	0	0	0	546	17.6
6月	485	0	0	0	485	16.2
7月	443	0	0	0	443	14.3
8月	288	0	0	0	288	9.3
9月	456	0	0	0	456	15.2
10月	479	0	0	0	479	15.5
11月	413	0	0	0	413	13.8
12月	429	0	0	3	432	13.9
1月	461	0	0	27	488	15.7
2月	424	0	0	27	451	16.1
3月	398	0	2	6	406	13.1
合 計	5,322	0	2	63	5,387	14.7

(2)実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1人当り平均利用日数
4月	59	56	2	1	7.8
5月	64	60	2	2	7.8
6月	64	59	3	2	7.5
7月	57	54	1	2	7.6
8月	46	44	0	2	7.9
9月	63	60	1	2	7.7
10月	65	62	2	1	7.5
11月	60	58	1	1	6.7
12月	62	58	1	3	7.6
1月	62	58	2	2	8.1
2月	56	53	1	2	8.7
3月	50	46	1	3	8.7
平 均	59.0	55.7	1.4	1.9	7.8

(3)年齢別状況　　3月度

年 齢	男性	女性	合 計
−64	1	1	2
65−69	2	0	2
70−79	1	7	8
80−89	2	17	19
90−99	1	18	19
100−	0	0	0
合 計	7	43	50
平均年齢	83	88	87.5
最高年齢	94	99	
最低年齢	62	52	

(4)要介護度別状況(3月度)

介護度別　　平均　2.8

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	1	1	2.1%
要介護1	1	6	7	14.9%
要介護2	1	13	14	29.8%
要介護3	1	9	10	21.3%
要介護4	2	9	11	23.4%
要介護5	1	3	4	8.5%
合計	6	41	47	100.0%

障がい区分別　　平均　5.7

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	1	0	1	33.3%
区分6	0	2	2	66.7%
合計	1	2	3	100.0%

令和4年度　虹ヶ丘デイサービスセンター　事業報告書

1　総括

今年度は、職員の体調不良による業務制限や勤務条件の変更等に伴って、事業所内の業務分担や体制の見直しを図りました。また、ICT化にも力を入れ、インカムを活用して職員間で情報共有と緊密な連携を推進し、業務の流れを円滑に進めることができるように工夫しました。老健利用の長期化や特養への依存度の高まりが地域全体で見られるようになり、稼働率は前年に比べて大きく低下しました。新規の利用の呼びかけだけでなく、利用回数の増加、臨時の受け入れ等について、各居宅介護支援事業所に呼びかけを行いましたが、転倒による骨折、ショートステイの長期利用希望によるキャンセル等が続き、今年度の平均利用者数は17.2名と目標を大きく下回りました。

7月中旬には、皮膚科の専門医にかかることなく長期間にわたって湿疹が見られたご利用者から疥癬が判明し、多数の職員とご利用者が感染することがありました。7月下旬には、併設するショートステイ利用者から新型コロナウイルスの陽性が判明し、職員の陽性も判明したこともあり、丹後保健所の指示によって自粛営業を余儀なくされたこともありました。夏場であったため、自宅での入浴が困難なご利用者に対して、入浴のみに限定した短時間サービスを午前と午後に分けて行いました。ご利用者の体調観察を行い、また、疥癬の感染対策も行いつつ、かろうじてサービスの提供を継続することができました。

一方で、コロナ禍が長期化し、外出や活動意欲が失われないように、園芸や創作活動、転倒防止や口腔機能の向上に繋がるような取り組みの強化にも努めました。地域の方との関わりを持つことも困難でしたが、デイサービスの活動を広く知っていただけるようにデイサービス新聞の発行や、地域の文化祭へ出展する等の活動は実施することができました。

引き続き、様々な感染症への対策に留意しながら、ご利用者が安心、安全で、かつ満足していただけるような活動を広く展開していけるように、常にご利用者の目線で考え、ニーズに合わせたサービスを提供していきたいと思います。

2　サービス実績の状況

	開所日数	実人数	介護	総合事業・予防	障害	延利用人数	介護	総合事業・予防	障害	1日平均	介護	総合事業・予防	障害
4月	26	73	61	12	0	512	446	66	0	19.7	17.2	2.5	0.0
5月	27	74	62	12	0	509	443	66	0	18.9	16.4	2.4	0.0
6月	26	72	61	11	0	504	441	63	0	19.4	17.0	2.4	0.0
7月	27	72	61	11	0	396	350	46	0	14.7	13.0	1.7	0.0
8月	27	63	55	8	0	408	359	49	0	15.1	13.3	1.8	0.0
9月	26	65	55	10	0	468	417	51	0	18.0	16.0	2.0	0.0
10月	27	67	58	9	0	516	464	52	0	19.1	17.2	1.9	0.0
11月	26	69	59	10	0	476	413	63	0	18.3	15.9	2.4	0.0
12月	27	67	58	9	0	467	403	64	0	17.3	14.9	2.4	0.0
1月	27	63	54	9	0	421	367	54	0	15.6	13.6	2.0	0.0
2月	24	60	52	8	0	369	329	40	0	15.4	13.7	1.7	0.0
3月	27	59	51	8	0	415	367	48	0	15.4	13.6	1.8	0.0
合　計	317	804	687	117	0	5,461	4,799	662	0	17.2	15.1	2.1	0.0

3 介護度別利用状況

(1)介護度別　　平均　2.2

項　目	男 性	女 性	合 計	構成比
要支援1	2	2	4	6.8%
要支援2	1	3	4	6.8%
要介護1	1	12	13	22.0%
要介護2	2	17	19	32.2%
要介護3	3	5	8	13.6%
要介護4	3	5	8	13.6%
要介護5	1	2	3	5.1%
合　計	13	46	59	100.0%

(2)障がい区分別　　平均　—

項　目	男 性	女 性	合 計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合　計	0	0	0	0.0%

4 年齢構成別登録状況

(1)介護サービス

	男 性	女 性	合計
−64	0	1	1
65−69	1	1	2
70−79	2	5	7
80−89	5	16	21
90−99	2	17	19
100−	0	1	1
合 計	10	41	51
平均年齢	83.6	86.0	85.5
最高年齢	93	100	
最低年齢	65	52	

(2)予防・総合事業サービス

	男 性	女 性	合計
−64	0	0	0
65−69	0	0	0
70−79	0	0	0
80−89	1	5	6
90−99	1	0	1
100−	1	0	1
合 計	3	5	8
平均年齢	93.0	85.0	87.5
最高年齢	100	89	
最低年齢	87	82	

(3)障がいサービス

	男 性	女 性	合計
−64	0	0	0
65−69	0	0	0
70−79	0	0	0
80−89	0	0	0
90−99	0	0	0
100−	0	0	0
合 計	0	0	0
平均年齢	0.0	0.0	0.0
最高年齢	0	0	
最低年齢	0	0	

5　デイサービス行事

月	行　事　名
4月	花見ドライブ、花咲かじいさんお芝居
5月	さつま芋植え
6月	あじさいドライブ、梅ジュース作り
7月	
8月	
9月	さつま芋ほり
10月	食レク(さつま芋ご飯、お菓子作り)
11月	紅葉ドライブ、岩屋文化祭出展
12月	
1月	
2月	
3月	食レク(赤飯)

令和4年度　虹ヶ丘在宅介護支援センター　事業報告書

1　総　括

今年度の居宅介護支援件数は1025件と、昨年度に比べマイナス204件と大幅に減少し、月平均は85件となりました。その要因としては、7月に法人内の居宅介護支援事業所への職員異動と、9月末に退職の職員があったため、異動した職員が担当していたご利用者のうち数名の方に一緒に事業所を移っていただくことになったこと、職員4名から3名体制となったことで、新規の受け入れが難しい時期があったことが影響しています。

10月以降は積極的に新規の受け入れを行いましたが（前年度の新規受け入れは年間33件で今年度が年間28件）、心身の状況の変化等により、長期入院や、老人保健施設、特養への長期入所となる方が多く、登録件数の増加には苦戦を強いられました。しかし、そのような中でも、地域に密着し、信頼される相談センターとして、介護保険サービスを中心とした幅広い相談に、迅速かつ丁寧に対応し続けることで、地域の皆様に寄り添ったサービスを提供してまいりました。

新型コロナウイルスの流行状況により、今年度も短時間の居宅訪問や玄関先でのモニタリング訪問を余儀なくされましたが、そのような状況でも、感染対策に係る助言や情報提供に努め、良好で信頼できる関係性を築くよう取り組みました。また、コロナ禍においては、介護者の負担が大きくなっていることを踏まえ、家族交流会を開催したいと考えていましたが、施設内でのコロナ感染のリスクが生じることにより、実際には開催することはできませんでした。

来年度は4月に岩滝あじさい苑居宅介護支援事業所と合併し　新たに「支援センターかなで」と名称を変更し、介護支援専門員5人の体制でのスタートとなります。介護支援専門員の増員により、新規の受け入れに対して柔軟な対応が可能となり、加えて特定事業所加算Ⅱの算定によって、安定経営に貢献することが期待されます。今後も、与謝野町で最後まで安心して暮らし続けたいご利用者およびご家族の願いを叶えるため、引き続き丁寧な支援を提供してまいります。

2　事業実施状況

（1）受入実績

	居宅介護支援									介護予防支援		
	件　数	初回加算	特定事業所加算（Ⅱ）※	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	通院時情報連携加算	緊急時カンファレンス加算	ターミナルケアマネジメント加算	件数	初回加算	委託連携加算
4月	109	5	109	6	1	4	1	0	0	2	0	0
5月	107	1	107	2	0	2	1	0	2	2	0	0
6月	102	3	102	6	0	5	1	0	0	2	0	0
7月	83	2	83	1	0	2	1	0	0	2	0	0
8月	82	2	82	6	1	4	1	0	1	2	0	0
9月	79	2	79	5	0	3	1	0	0	2	0	0
10月	78	2	78	4	1	3	2	0	0	2	0	0
11月	79	4	79	2	1	5	4	0	0	1	0	0
12月	79	2	79	3	0	3	0	0	1	1	0	0
1月	77	4	77	1	1	1	3	0	0	1	0	0
2月	76	3	76	5	0	3	1	0	0	1	0	0
3月	74	3	74	4	1	3	2	0	0	1	0	0
合計	1,025	33	1,025	45	6	38	18	0	4	19	0	0

※特定事業所加算は10月から（Ⅲ）となっている。

（2） 相談内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数	相談区分	件数	実人数
介護保険関係	242	71	他サービス利用	65	14
医療健康相談	2,736	144	介護保険以外のサービス	156	69
デイサービス利用	1,089	110	認知症の介護に関する相談	143	27
ホームヘルプ利用	447	54	介護に係る相談	118	39
訪問入浴利用	55	9	担当者会議	153	90
ショートステイ利用	780	72	モニタリング	883	128
訪問看護利用	459	56	虐待に関する相談	8	3
デイケア利用	87	14	権利擁護に係る相談	2	1
施設入所関係	232	51	その他	0	0
住宅改修・福祉用具	791	118	合計	8,446	1,070

区分	電話	来所	訪問	文書	FAX	メール	その他	合計
本人	1,045	28	1,633	68	20	4	277	3,075
家族	1,611	73	1,293	9	18	28	237	3,269
関係機関	1,832	54	1,138	140	50	17	600	3,831
相談協力員	1	0	0	0	0	0	1	2
その他	11	3	7	1	0	0	4	26
合計	4,500	158	4,071	218	88	49	1,119	10,203

令和4年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

1 総括

令和4年度は、ご利用者がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるように支援することを基本理念に掲げ、ご利用者のニーズに柔軟かつ丁寧な対応を心掛けるようにしました。しかし、利用希望者の増加やご利用者の状態変化に対して職員体制を十分に整えることが難しく、事業所の都合で訪問時間の変更をお願いしなければならないことも少なくありませんでした。援助計画で定められた時間的制約のある中で、優しく寄り添うことは簡単ではなく、利用者によっては援助の途中で思わぬ反応を示されることもあり、対人援助の難しさを痛感することも度々ありました。

事業所内の職員の詰め所には、季節ごとの飾りつけを行い、明るい雰囲気づくりと整理整頓、個人情報の保護等には特に力を入れました。ヘルパー研修では、インターネットによる視聴型研修を軸に、ケース検討も随時取り入れながら、援助における訪問介護員としての視点や、重視しなければならないこと等を確認する場も日常的に持つようにしました。

登録されているご利用者に対し、ヘルパー全員が丁寧な支援を心掛けてきたことに加え、近隣のヘルパー事業所の幾つかが縮小されることもあり、新規に依頼される事案が急増してきています。年度末に1名の退職者があったため、依頼を受けたご利用者の一部は断らざるを得ない状況が続いています。

収支状況については、令和4年度を振り返ると訪問件数は右肩上がりとなり、下半期にはほぼ毎日が超過勤務となる状況が続きました。また、今年度から特定事業所加算Ⅰの算定を始めたものの、収支のバランスは大きくは改善せず、収益を出すまでには至りませんでした。その要因の主なものとして、訪問時間以外の時間の使い方、特に記録時間については、できるだけ短縮できるように、少しずつ改善の兆しは見えてきていますが、更なる合理化の検討を続けていかなければならないと感じています。また、効率的なスケジュール管理を行うことで、収益をあげつつも、ご利用者やご家族との信頼関係を築き、在宅生活を営まれる上での安心と安全を支援していきたいと思います。

2 利用者状況

(1)要介護度別　　3月度 平均　2.0

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	2	1	3	6.1%
要支援2	2	2	4	8.2%
要介護1	3	8	11	22.4%
要介護2	5	13	18	36.7%
要介護3	3	5	8	16.3%
要介護4	1	1	2	4.1%
要介護5	2	1	3	6.1%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	18	31	49	100.0%

(2)障がい区分別　　3月度 平均　4.5

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	1	0	1	25.0%
区分4	1	0	1	25.0%
区分5	0	1	1	25.0%
区分6	0	1	1	25.0%
合計	2	2	4	100.0%

(3)年齢別　　3月度

	男性	女性	合計
―59	1	2	3
60―64	1	0	1
65―69	1	0	1
70―79	4	2	6
80―89	9	20	29
90―99	4	8	12
100―	0	0	0
合計	20	32	52
平均年齢	80.7	84.2	82.9
最高年齢	96	99	
最低年齢	59	52	

(4)サービス実績の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険サービス	身体介護	148	140	121	111	133	140	140	151	139	151	176	193	1,743
	身体生活	41	33	46	38	58	50	47	45	57	62	67	72	616
	生活援助	106	117	119	122	119	168	158	159	130	115	109	150	1,572
	延件数	295	290	286	271	310	358	345	355	326	328	352	415	3,931
	初回加算	1	6	4	1	3	2	4	5	4	3	2	2	37
	緊急時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	利用実人数	31	35	38	33	34	36	37	40	43	42	43	40	
総合事業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	68	70	69	60	75	72	60	50	58	55	49	44	730
	初回加算	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	4
	利用実人数	8	8	8	7	8	9	7	6	7	8	7	7	
障がい		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	11	19	19	13	19	15	23	18	22	15	12	20	206
	利用実人数	2	4	4	4	4	3	4	3	4	3	2	4	
合計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	374	379	374	344	404	445	428	423	406	398	413	479	4,867
	利用実人数	41	47	49	43	45	48	48	49	53	53	52	50	578
	訪問時間	307:55	320:25	329:05	306:25	356:20	344:50	371:05	359:30	361:20	356:05	360:05	423:45	4196:50

令和4年度　ふれあいホーム神宮寺　事業報告書

1　総括

令和4年度の登録者数は、年間平均22.7名/月と、前年度平均19.0名/月を大きく上回りました。特徴は、お看取りによる終結が3名おられたことです。登録時点で既に終末期の状態で、1ヶ月前後と短い期間でしたが深く緊密な関係を築くことができました。また、体調不良で独居生活が困難になられたという終結の方も数名ありました。要介護度の状況については、全体の42%にあたる方が要介護3～5の状態にあり、その中でも複数の方が一人暮らしのために、かろうじて生活が維持できる状況です。一方で、要支援4名、要介護1が6名と軽度の登録者も多く、年間平均介護度は1.9と昨年度より軽度化しています。

通いは、特に上半期が多く、通所年間平均は昨年度より22.5名増えています。下半期の減少は登録者数の減少によるものだけでなく、新型コロナウイルスや降雪の影響もあったと思われます。訪問は、年間平均が昨年度より121.7件も増え、訪問のニーズは非常に高い状況が続いています。一方で、泊りの平均数は昨年度より5.6件減り、実人数も少ないまま推移しています。

事業所の運営においては、サービス内容がますます複雑になりつつあり、ご利用者の徘徊による夜間の急な出動や複数回の大掛かりな捜索等、大変な状況も多くありました。しかし、様々な機関と連携をとりながら、地域での生活を支援する『在宅生活支援の砦』として、迅速で柔軟な対応を行うことができたと思われます。

年間を通しての活動は、登録者数の増加とコロナ感染症の影響で、日々のサービス提供を維持していくことで精一杯でした。受診を要する事故も2件あり、コロナ禍の影響による機能低下だけでなく、慌ただしさや職員間の連携不足がご利用者に支障を及ぼしたことは否定できません。ただし、そういった中で、創作活動や脳トレのプリント等が盛んに行われているだけでなく、個々の好みやニーズに合わせた活動も行っており（例えば、体操の実施や、気候の良い日には境内の散歩等）、可能な範囲で地域との交流も積極的に行うことができました。

【地域支援事業】

今年度も新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、認知症カフェの中止が多くなりました。昼食なし午後から実施の「ミニいしかわサロン」についても年間24回の予定でしたが、実際には年間15回に留まりました。内容は、地区の参加者が主体となるよう要望を聞いた上で、認知症予防の体操や脳トレゲーム等を実施しています。また、最近ではカードゲームが好評であり、認知症の早期発見につながる可能性もあると感じています。あわしまサロンも月2回ずつ、年間24回計画しましたが、11回の実施に留まりました。認知症予防の体操の他に、パッチワークやカントリードール等、複数回にわたって創作活動を行い、大きな作品を制作しています。どちらのサロンでも、新型コロナウイルスの影響を受け、参加者の方々も足腰が弱くなったり、人と会わずに閉じこもりがちになっているというお話をお聞きしています。サロンが中止になった時期は自宅で取り組めるように脳トレプリントを石川地区に毎月全戸配布を行い、実施方法を工夫しながら認知症予防の取り組みも継続しています。

地域への訪問活動も感染状況を見ながら職員のみで、延べ279件行いました。また、介護サービスの利用等の電話相談を受ける等の活動も行っています。来年度については、社会情勢を注視しながら、各関係機関との連携や情報共有を行い、認知症カフェや地域支援の活動を積極的に推進していきたいと考えています。

2　利用者状況

(1)利用状況

	月末登録者数	平均介護度	延通所数	延訪問数	延宿泊数
4月	24	2.0	314	572	9
5月	24	2.1	314	628	2
6月	23	2.0	312	593	2
7月	24	2.0	318	542	5
8月	22	1.9	313	519	4
9月	24	2.0	296	538	2
10月	24	1.9	314	495	4
11月	23	1.8	292	525	2
12月	22	1.9	261	481	2
1月	21	1.9	234	462	3
2月	21	1.8	219	451	4
3月	20	2.0	241	472	3
年間平均	22.7	1.9	285.7	523.2	3.5

(2)登録状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規者数	2	1	0	1	0	3	1	0	1	2	1	0	12
中止者数	1	1	1	0	2	1	1	1	2	3	1	1	15
月末登録者数	24	24	23	24	22	24	24	23	22	21	21	20	

(3)年齢別状況 3月度

	男性	女性	合計
−64	0	0	0
65−69	0	0	0
70−79	1	1	2
80−89	5	5	10
90−99	1	8	9
100−	0	0	0
合計	7	14	21
平均年齢	83.4	89.9	87.8

(4)　介護度別状況 3月度

	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	1	3	4
要介護1	2	4	6
要介護2	1	1	2
要介護3	2	5	7
要介護4	1	0	1
要介護5	0	1	1
合計	7	14	21

3 部署行事

月	行　事　名
4月	壁画作り・送迎時に車内から桜の花を見る
5月	壁画作り・室内でゲーム
6月	近隣ドライブ（シーサイドパーク等）・梅干し、梅ジュース作り
7月	13日に神宮寺利用者だけでミニあわしま祭（心経あげ・昼食事会）
8月	お地蔵さんの前掛け作り（大1・小24）・お盆の心経あげ
9月	敬老週間（3日間実施。昼食事会・プレゼント）・お彼岸（心経あげ・おはぎ作り）
10月	壁画作り・落ち葉アート・芋ほり・ドライブ
11月	石川区文化祭参加・大地蔵掃除と冬の肩掛け編み
12月	石川小3年生と交流会(プレゼント交換)・クリスマス会・そば打ち
1月	新年祝賀式（おせち料理でもてなし）・壁画作り
2月	節分（豆まきゲーム・昼食に巻き寿司）・石川小4年生へのプレゼント作り
3月	お彼岸(心経あげ・ぼたもち作り)・石川小4年生に認知症サポーター養成講座